

佳作

未来の自分に伝えたいこと

福島県新地町立尚英中学校

1年 濱部 匠

僕の将来の夢はゲームプランナーです。ゲームを考え作ってそのゲームを楽しむみんなの時間が良いものになるようにするというのが僕の夢です。そのために、僕が未来の自分に向けて伝えたいことが四つあります。

一つ目は「やりたいことに全力で向き合えていますか？ やりたかったこと、夢に思ったこと、全てちゃんとできていますか？」です。僕はやり残したまま後悔することは嫌です。絶対嫌です。

今、僕はタイピングの練習やさまざまなゲームに触れることをやっています。一つのゲームを楽しむのではなく、ゲームの構成やデザイン、ルール、得点方法などを分析しながら取り組んでいます。僕は対戦形式のゲームに興味があり、さまざまな特技を持ったキャラクターはとても魅力的です。例えば、スーパーマリオは世界中どこの人にも愛されるゲームキャラクターとして有名です。東京オリンピックに大会を引き継ぐ時、当時の首相がスーパーマリオの格好をして登場したことがとても話題になりました。世界中が注目するスポーツの祭典にゲームのキャラクターが出てくることにとても驚きました。そしてゲームは世界の文化、歴史、言葉を超えて共通して楽しめるものだと感じました。そういうゲーム作りをイメージして、僕も世界中の人に愛されるゲームを作りたいと思います。

そんな今、僕がやりたいことをしているように、大人の僕も頑張ってください！

二つ目は、「立派な心を持っていますか、ドラえものののび太くんのような心を持っていますか？」です。僕はドラえもんがすごく好きです。何をやってもだめなのび太くん、でも、映画では、人を助けたり、どんな時でも自分よりも優先して、相手のことを考えたり、友達を第一に思っていて、やりすぎたらやりすぎたなって反省することができるすごい心を持っています。そんなのび太くんに憧れています。みんなに優しく、そしてのび太くんのような心になってみたいと思っています。それが、ゲームを作る上でとても大切な要素になっていくと思います。そこには、チームワークをよくしていくためにみんなへの気遣いが大事になってきます。僕は、のび太くんのような心で、仲間と一緒にゲームを作りたいです。

三つ目は、「今の友達を大事にしていますか？ 小学校・中学校の友達、そし

てこれからできる友達とうまくやっていけていますか？」です。二つ目でも言ったとおり、友達は、大事です。それは当然です。でも、友達とうまくやっていくことは簡単なことではないと僕は思っています。でも、幼い頃からの友達は、大人になってからや仕事でできる友達とは違うと感じています。うまく言葉にできませんが、自分そのものを知っているような、同じ空間でいろんなことを感じたり、考えたりする友達です。小学校、中学校の友達と大人になってからも友達として続いてほしいです。僕は今の中学校の友達と続いていくように、大切に親切にしていきたいです。でも、未来でどうなるかはわかりませんが、きっといい友達ができていると信じています。そしてもっと友達関係を広げたり深めたりしてほしいです。

四つめは、「つらいこと、苦しいこと、ちゃんと乗り越えていますか。楽な方に行っていると、いつかどん底に突き落とされているよ。」です。多分未来でも何かしら苦しいことつらいことが絶対にあるはずです。僕は、楽な方、楽な方、と進んでいき、いつしかどん底にいるかもしれません。そんな問題の特効薬として、このメッセージを思い出して、つらいこと苦しいことに立ち向かってほしいなと思ったからこの言葉にしました。

未来に向けて伝えたいことはこの四つです。この四つがちゃんと全て「はい！」と元気良く言えるように、これからも頑張っていきたいと思いました。世界に通じるゲームを作り出し、それをやった人が楽しい時間を過ごせるようにこれからも全力でやっていきたいと思います。もちろんここから繋がっている未来の自分も、頑張れ！